

協調学習による批判的思考育成と

学びの有用感向上を目指した理科授業に関する研究

教育実践高度化専攻 教科指導重点コース 理数・自然科学系（理科）

氏名 鯉江 清文

現在、社会のグローバル化や急速な情報化、技術革新などの変化は目覚ましく、これからの時代を生きる子どもたちには、他者との協働・協調的な学びや批判的思考の育成が求められている。そこで、本研究では、理科授業の中に、批判的思考がはたらく場面を用意した協調学習を取り入れることで、自己の考えをより妥当なものにできること及び、その過程による自己の成長を自覚し、学びに対する有用感が向上することを明らかにし、成立する授業環境を考察することを目的とした。1年目は、記述ベースの協調学習を行い、批判的に思考させる活動を明示的に設定し、2年目は、発話ベースの協調学習を行い、生徒の主体的判断で批判的思考が働き得る場の設定に力を入れ、異なるアプローチでの実践を行った。結果の分析から、2つの実践共に、協調学習による批判的思考の育成と学びの有用感向上に有効であることがわかった。ただ、それぞれの実践における成果と課題には異なる傾向があり、両者をうまく使い分けたり、組み合わせたりすることでより効果的な成果が得られるのではないかということが示唆された。